

未来への協働

2024年5月8日(水) 第389号

発行所 未来への協働
〒577-0023 大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
電話/FAX (06) 4306-3512
郵便振替 00940-8-213061
Eメール mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 震災直後のままに驚き 寄稿 栗原神戸市議
- 3面 日米指揮権統合の危険性(上)
- 4面 GDP4位転落はなぜ
- 5面 『マルクスに凭られて六十年』岡崎次郎著
- 6面 うるま陸自訓練場を断念させた

紙面へのご意見、ご感想を。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。



https://kyodomirai.org

美ら海守れ 大行動

辺野古 カヌー・抗議船で一斉に

「辺野古新基地建設」に組まれた(主催/ヘリ)の本体着工から7年を迎え、基地反対協議会・海上行えた4月25日、「辺野古・動チーム」が取 朝7時30分、テント村に集合。班編成とカヌーの積み込みなどを準備し、9時前に松田ぬ浜からいっせいに出発した。波はなかつたが曇り空、9時過ぎから雨が降り始め一時は激しくなった。



「代執行は許さないぞ! 美しい海を守れ!」と声あげる海上行動チーム=4月25日、名護市

「代執行は許さないぞ! 美しい海を守れ!」と声あげる海上行動チーム=4月25日、名護市

「稼ぐ公園」の実際は

市民が6.3億円の損

扇状地

「稼ぐ公園」は本場に市民の利益になっているのか。この疑問を谷口さんは数字で検証した。



中間貯蔵施設反対 関電に署名26万筆

開幕予定まで

然を未来へ繋ぐために。辺野古新基地建設が止まるその日まで、たたかうに代執行されたら嫌なはず。共に声を上げてほしい(琉球新報、沖縄タイムス)と話した。

山口県上関町への中関貯蔵施設建設計画に反対する署名を提出するため、4月16日、山口県の住民5団体の代表が関電本店を訪れた。提出後、記者会見と抗議行動が行われた。行動を呼びかけたのは原水爆禁止山口県民会議。この日の午後1時半、台車3台に積まれた26万3230筆の署名(写真上)と共に抗議団

山口県上関町への中関貯蔵施設建設計画に反対する署名を提出するため、4月16日、山口県の住民5団体の代表が関電本店を訪れた。提出後、記者会見と抗議行動が行われた。行動を呼びかけたのは原水爆禁止山口県民会議。この日の午後1時半、台車3台に積まれた26万3230筆の署名(写真上)と共に抗議団

大阪市の収益になるはずだった。つまり大阪市事業者は年2・26億・79億円を差し引いた、6・3億円以上も損をしたのである。

大阪市の収益になるはずだった。つまり大阪市事業者は年2・26億・79億円を差し引いた、6・3億円以上も損をしたのである。

大阪市の収益になるはずだった。つまり大阪市事業者は年2・26億・79億円を差し引いた、6・3億円以上も損をしたのである。

大阪市の収益になるはずだった。つまり大阪市事業者は年2・26億・79億円を差し引いた、6・3億円以上も損をしたのである。

大阪市の収益になるはずだった。つまり大阪市事業者は年2・26億・79億円を差し引いた、6・3億円以上も損をしたのである。

寄稿 郷里能登半島を訪ねて

神戸市会議員 あわはら富夫

震災直後のままたに驚き

4月上旬に、郷里である石川県能登の宝達志水町を訪ねました。その後、奥能登の輪島市、七尾市中島町で仮設住宅建設や被災者の生活支援に取り組み神戸のボランティアグループと交流してきました。宝達志水町は、人的被害はなく公共インフラの復旧も早かったのですが、それでも液状化によって損壊家屋は1500戸を超えていました。

仮設建設の絶対的遅れ

阪神淡路大震災時は、震災後3カ月には神戸市の復興計画が決まり、公費解体がどんどん進み、アスベスト被害を心配しなければならなかったよな状態でしたから、元且からの景色が変わらない輪島市の現状には驚かされました。七尾市中島町で生活支援を行う神戸の団体、被災地NGO協働センターの支援基地を訪ねました。「仮設住宅建設の絶対的不足」、さらに「仮設団地に集会所がない」など、これまでの震災経験が活かされていないと怒り、災害救助法の主体である「県の姿」が見えず、地元自治体の対応が「すべてのことで遅れている」と嘆いていました。

「元の暮らしに戻す」復旧を

震災は、その都市や地域が抱えている将来的課題を、今の課題にして



樹木だけが残った瓦礫のまち=石川県輪島市、4月上旬



まいます。人口減で弱る自治体力、進む限界集落など。復興どころか、復旧も進んでいない状況です。「元の暮らしに戻す」支援が求められます。特に被災者の生活再建には、阪神淡路大震災の被災者の運動で成立させた「被災者生活再建支援法」があります。

この法律は地震など災害のたびに充実され、被災者の生活再建に役立つ制度になってきています。野党が「支給額最高600万円、すべての被災者を対象にする改正案」を国会に提案しています。この改正案を成立させ、阪神淡路大震災の被災者の思いが能登の被災者を救うことを祈ります。

能登半島地震と二つの原発

再稼働と建設計画を凍結させた市民運動に感謝します。能登半島には、今回の地震時に稼働していなかった志賀原発と、市民運動で凍結を勝ち取った珠洲原発計画があ

ります。志賀原発は、私

が高校の時の校区にあり周辺には友人もいます。地震で陸海空とも交通手段が遮断され、避難ルートは現在も修復工事が行われている能登里山街道です。原発避難計画が全く機能しないことが証明されました。

志賀原発は、再稼働が目前でした。東日本大震災以後、新しい活断層の存在を反対派が提起し、再稼働に反対する運動が繰り返られていまし

大爆発が起きているも不思議ではない状況です。志賀原発を再稼働させず、珠洲原発計画を凍結に追い込んだ能登の市民運動に感謝です。

今回の地震で外部電源も内部電源も一時途絶えました。稼働されていれば炉心の冷却ができず、福島原発事故と同じ経過をたどったのではないのでしょうか。

珠洲では、建設予定地だった集落は孤立し避難計画が役立たず、しかも予定地の海岸は2mから4mも隆起しました。もし原発ができていれば、配管が破断するだけでなく炉心自体が破壊される

大阪府の自治体で働いている更新のため雇止めが可

の更新のため雇止めが可

自治体職員に安定雇用を 住民の権利を守るために不可欠

投稿

2020年から全国の自治体の非正規職の待遇改善策として「会計年度

にさらされています。毎年の年末から年度末の時期は、雇止めや次の職場探しに直面する人々の相談が後を絶ちません。こんな中で日常の業務を正規職員とともに担っています。最近はそのような職場に

が代わり、窓口業務を担当、正規職員、非正規職が労働者も代わるため、員、委託労働者と雇用形態が違いますが、その意思疎通があまりスムーズにはいきません。毎日の業務に追われ、それをこなすことで精一杯なのが現状です。

再稼働と建設計画を凍結させた市民運動に感謝します。能登半島には、今回の地震時に稼働していなかった志賀原発と、市民運動で凍結を勝ち取った珠洲原発計画があ

「アウトソーシング」業務委託が導入され、主に窓口業務は委託先の労働者が担う形になってい

「アウトソーシング」業務委託が導入され、主に窓口業務は委託先の労働者が担う形になってい

一定の経験が必要である一人ひとりの住民にとって、窓口業務を担う労働者にとって、ようやく「自治体労働者の安定仕事に慣れた頃に人が代わった」という状況が、ストレスが溜まります。こんなことを思いつつ

非正規職員の給料は報酬の2分の1ほどです。また年度ごと

ごとの更新です。自治体

半年ごとに行われるよう

日常の業務をこなしている

インフォメーション
5月11日(土)
祝園ミサイル弾薬庫問題大学学習会
ガザ・沖繩そして祝園

午後2時~4時(参加費無料)
●むくのきセンター4階
●京都府相楽郡精華町下狛神ノ木8
近鉄京都線狛田駅・JR学研都市線下狛駅より徒歩20分
講師・西岡信之さん(元沖繩国際大平和学非常勤講師)
主催・京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク

5月12日(日)
みんなでつくる、明日の平和！
ピースフェスタ in おおさか2024
午前11時~午後4時(参加費無料、雨天中止)
●生野パーク(御幸森小学校跡)
●JR大阪環状線・近鉄大阪線鶴橋駅より徒歩14分
主催・ピースフェスタ実行委員会

先の日米首脳会談では、追求の権利が根底から覆される明白な危険がある「統合強化(以下「指揮権統合」という)が話し合われた。この指揮権統合の動きは、自衛隊が米軍の指揮下におかれて従属的軍隊になってしまうばかりでなく、台湾海峡や南シナ海での緊張が取りざたされるなか、日本が戦争に巻き込まれる危険性が一段と高まる事態と認識すべきだと思ふ。(西神ニュータウン9条の会会員 伊東武是)

他国戦争への限定的参加から全面的参加へ

2015年の新安保法制と2022年の安保三文書は、憲法9条の「戦争放棄」をないがしろにし、自衛隊の行動限度、専守防衛の制約を超えて集団的自衛権の一部行使を容認した。

今回の指揮権統合の動きは、新安保体制下でなお自衛隊行動をしばっていた限界枠を取っ払おうとしている。以下の2点に注目せざるをえない。

①自衛隊が他国間の戦争に加担するには、「我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福

なる。内閣総理大臣は「存立危機」の要件判断をなすがしるにして、米軍支援の方向で自衛隊出動を命令することになる。いやむしろ、指揮権統合は日米間で「自衛隊の当然参加」密約を前提とするものと考えらるべきか。

制約なき武力行使容認

②昨年の安保三文書において、内閣は反撃能力を必要最小限度にとどめることを明記した。国会答弁でも、自衛隊の武力行使には「必要最小限度」の限界があることを繰り返し説明した。「戦争を放棄した」憲法9条との整合のためである。自衛隊は自衛隊法76条1項2号の出動時においてもこの限度内の行動に止まらなければならない。

しかしながら、米軍主導の指揮権統合のもとでは、米軍は自らの作戦のために自衛隊を都合よく使いたいはずで、自衛隊側の「必要最小限度」の限界枠など配慮するとは考えにくい。自衛隊側も米軍指揮下に入る以上、自らの行動の限界枠など言い出せない。日米同盟の強化に同調するわが国政府は、米軍が要求するまま制約のない武力行使を自衛隊に容認すること

他国の戦争に全面参加

—日米指揮権統合の危険性(上)—

となろう。

台湾有事の場合を考えたとしても、米軍の関与は「台湾防衛」のためであり、自衛隊の場合には「日本の存立危機」排除のためであって、双方の目的は一致していないはずである。それにもかかわらず米軍が、指揮権統合を検討するのは自衛隊を米軍の目的に引き込もうとする狙いがあることが明らかというべきであらう。

上記①②から浮かびあがるものは、新安保体制のもとで自衛隊の他国間戦争への加担が「限定的参加」から「全面的参加」に質的転換を遂げようとしていることである。

国会追及と市民運動

立憲民主党と共産党は、今回の日米首脳会談での米軍と自衛隊の指揮権統合の動きに対して国会で追及する姿勢を表明している。ぜひとも頑張ってもらいたい。

国会での追及を前に立ちふさがることが予想される壁がある。

もっとも懸念されるのは、政府側がこの指揮権統合に関する日米間の協議内容を秘密にし、国民に知らせようとしない可能性である。従前の外務・防衛首脳2+2協議でも、共同作戦計画について「安全保障上の必要」相手のあること「協議の途中であること」などを理由にその内容説明を拒んできた。

辺野古からカヌーチーム 鈴木さん千葉さんに聞く(下)

GBで突っ込む海保



海保を刑事告訴した千葉和夫さん

「検事は、『原告がウソを述べている、障害が出るようなことはなかった』と主張しているが、診断書が出ており、ケガがあったことは明らか」

「GBと接触がなかった」と言っが、ビデオ映像がある」「臨時制限区域を日米地位協定によってつくることができぬのか。富樫守さんは、「仲間を孤立させてはならない。コロナ禍により抗議行動への参加者が少なくなくなった。原点に戻って取り組みたい。辺野古の問題は、沖縄だけではなく、本土の問題ですよ。このような社会を、日本を変えていきたい」と、まとめた。(おわり)

辺野古ぶるーカヌーチーム、鈴木公子さん、千葉和夫さん報告会(3月31日、神戸市内)「大浦湾で、何が行われているのか」から。(高崎)

千葉和夫さん カヌーによる大浦湾行動で、私は海上保安官に5回負傷させられました。海保を刑事告訴しましたが却下され、民事で争っています。1回目は、海保のゴムボート(GB)に追いやられ、海保(隊員)が飛び込んできて私のカヌーを抑えました。私が「何の法的根拠にもとづき弾圧するのか」と聞くや、海保が怒り、私のカヌーに乗りあげ、ライフジャケットで首を絞めつけました。

病院に運ばれ、医師の話では「あと5秒絞められ

士は、次のように話しています。

米軍海域守る海保!

「検事は、『原告がウソを述べている、障害が出るようなことはなかった』と主張しているが、診断書が出ており、ケガがあったことは明らか」

「GBと接触がなかった」と言っが、ビデオ映像がある」「臨時制限区域を日米地位協定によってつくることができぬのか。富樫守さんは、「仲間を孤立させてはならない。コロナ禍により抗議行動への参加者が少なくなくなった。原点に戻って取り組みたい。辺野古の問題は、沖縄だけではなく、本土の問題ですよ。このような社会を、日本を変えていきたい」と、まとめた。(おわり)

来週も応援に来ます

神戸の辺野古行動

4月13日(土)トランプルカホン、三線、ジャンベとサックス演奏、「沖繩、今こそ立ち上がろう」「耕すもの祈り」など(写真)。署名の際、「来週も応援に来ます」「沖繩、ヒドイことになっていきますね」と声をかけてもらった。「一緒に写真を撮らせてください」とVサインをする観光客。「こんなところにパネルを貼っても意味がない」という人も。路上写真展も検討。(庄)



精神障がい者の尊厳を求めて ③ 想田ひろこ

命を奪う身体拘束

患者の興奮が激しく自傷他傷の心配があり、百歩譲って身体拘束がやむを得ない場合でも、イギリスで実践されているように、必ずベッドサイドに見守りの看護師を配置すべきである。拘束が医療の一環だということならば、当たり前なことである。

患者の興奮が激しく自傷他傷の心配があり、百歩譲って身体拘束がやむを得ない場合でも、イギリスで実践されているように、必ずベッドサイドに見守りの看護師を配置すべきである。拘束が医療の一環だということならば、当たり前なことである。患者の興奮が激しく自傷他傷の心配があり、百歩譲って身体拘束がやむを得ない場合でも、イギリスで実践されているように、必ずベッドサイドに見守りの看護師を配置すべきである。拘束が医療の一環だということならば、当たり前なことである。



両手両足と胸を拘束する五点拘束＝認定NPO法人大阪精神医療人権センターのウェブサイトより転載

忘れられない事件がある。日本が大好きというニュージールランドの27歳ベジさんは10日間縛り付けられたままで、エコノミクスで、医師は長期休暇を取っているの、休暇を取る。自身は精神障がい者でもあるY医師は次のように語る。「身体拘束による身体弊害は、関節の拘縮、筋力の低下、食欲の低下に加えて呼吸循環機能の低下、血流うっ滞による静脈血栓(エコノミクス症候群)、ストレスによる不整脈等の増加など致命的なものも多い。拘束は日本では21世紀になって倍増。一日一万件以上と10年前の2倍になっている」。

「処遇困難」の患者が増えたわけではなく、真相は患者に正しい治療をせず、「処遇困難」のレッテルを貼って病院や医師が拘束患者を増やしているのだ。そうすれば看護はおざりにされ、仕事は楽になる。病院としては人件費をカットできる。自ら希望して入院したある女性患者は、一度も暴れなかったが、これも危険なはず1週間も拘束された。彼女のカルテには「複数人でも手がつけられないほど暴れまくる」と書かれていたという。

精神科特例 「精神科特例」というものがある。1958年厚生省(当時)の事務次官が「精神科病院従事者の定員は一般病院に比して医師は3分の1、看護師や准看護師は3分の2でよい」という特例を決めた。「精神科病院の急増が国の要請」というのがその理由だ。国庫補助が設けられ全国に民間精神科病院が粗製乱造された。精神科特例は医療の充実とはまったく逆だ。露骨な差別だ。むしろ一般病院よりも豊富な人材が精神科には必要なのだ。

「拘束の場合はベッドサイドに常時看護師の見守りが必要」と前述したが、「看護師は忙しくて、そんなことができるか」と言う人が多いだろう。しかし拘束で殺された患者は何人もいるし、ある女性患者は、40日間拘束されて両手の指が筋固縮で曲がったままとなり、精神疾患を抱えるだけでなく身体障がいになった人もいる。これ程危険な処置であるならばどれだけ忙しくても看護師の見守りは絶対不可欠だ。それなのに、そこに差別的な精神科特例が立ち上がった。

恥ずかしいことだが、私は以前「暴れる患者を押しさえついたり、ベッドに拘束したりするのは仕方がないのでは」と思っていたことがある。そうするとある男性患者がこういった。「抱きしめてくれてもええやんか」と。私は一瞬「えっ」と思ったが、次の瞬間、彼の言いたいことが胸に染み通るように伝わってきた。

患者を抱きしめる 精神病患者が暴れるのは、暴力事件の犯人とは違う。他人を傷つけるのが目的ではない。患者が興奮状態や錯乱状態に陥り、暴れてしまうときも「殴る、蹴る、ベッドに縛り付ける」ではなく、肩に手をやり、背中をさすりながら落ち着かせ、手をとってじっくりと話す。

「精神科特例」というものがある。1958年厚生省(当時)の事務次官が「精神科病院従事者の定員は一般病院に比して医師は3分の1、看護師や准看護師は3分の2でよい」という特例を決めた。「精神科病院の急増が国の要請」というのがその理由だ。国庫補助が設けられ全国に民間精神科病院が粗製乱造された。精神科特例は医療の充実とはまったく逆だ。露骨な差別だ。むしろ一般病院よりも豊富な人材が精神科には必要なのだ。

「処遇困難」の患者が増えたわけではなく、真相は患者に正しい治療をせず、「処遇困難」のレッテルを貼って病院や医師が拘束患者を増やしているのだ。そうすれば看護はおざりにされ、仕事は楽になる。病院としては人件費をカットできる。自ら希望して入院したある女性患者は、一度も暴れなかったが、これも危険なはず1週間も拘束された。彼女のカルテには「複数人でも手がつけられないほど暴れまくる」と書かれていたという。

束患者を増やしているのだ。そうすれば看護はおざりにされ、仕事は楽になる。病院としては人件費をカットできる。自ら希望して入院したある女性患者は、一度も暴れなかったが、これも危険なはず1週間も拘束された。彼女のカルテには「複数人でも手がつけられないほど暴れまくる」と書かれていたという。

しかし拘束で殺された患者は何人もいるし、ある女性患者は、40日間拘束されて両手の指が筋固縮で曲がったままとなり、精神疾患を抱えるだけでなく身体障がいになった人もいる。これ程危険な処置であるならばどれだけ忙しくても看護師の見守りは絶対不可欠だ。それなのに、そこに差別的な精神科特例が立ち上がった。

恥ずかしいことだが、私は以前「暴れる患者を押しさえついたり、ベッドに拘束したりするのは仕方がないのでは」と思っていたことがある。そうするとある男性患者がこういった。「抱きしめてくれてもええやんか」と。私は一瞬「えっ」と思ったが、次の瞬間、彼の言いたいことが胸に染み通るように伝わってきた。

患者を抱きしめる 精神病患者が暴れるのは、暴力事件の犯人とは違う。他人を傷つけるのが目的ではない。患者が興奮状態や錯乱状態に陥り、暴れてしまうときも「殴る、蹴る、ベッドに縛り付ける」ではなく、肩に手をやり、背中をさすりながら落ち着かせ、手をとってじっくりと話す。

「精神科特例」というものがある。1958年厚生省(当時)の事務次官が「精神科病院従事者の定員は一般病院に比して医師は3分の1、看護師や准看護師は3分の2でよい」という特例を決めた。「精神科病院の急増が国の要請」というのがその理由だ。国庫補助が設けられ全国に民間精神科病院が粗製乱造された。精神科特例は医療の充実とはまったく逆だ。露骨な差別だ。むしろ一般病院よりも豊富な人材が精神科には必要なのだ。

「処遇困難」の患者が増えたわけではなく、真相は患者に正しい治療をせず、「処遇困難」のレッテルを貼って病院や医師が拘束患者を増やしているのだ。そうすれば看護はおざりにされ、仕事は楽になる。病院としては人件費をカットできる。自ら希望して入院したある女性患者は、一度も暴れなかったが、これも危険なはず1週間も拘束された。彼女のカルテには「複数人でも手がつけられないほど暴れまくる」と書かれていたという。

「処遇困難」の患者が増えたわけではなく、真相は患者に正しい治療をせず、「処遇困難」のレッテルを貼って病院や医師が拘束患者を増やしているのだ。そうすれば看護はおざりにされ、仕事は楽になる。病院としては人件費をカットできる。自ら希望して入院したある女性患者は、一度も暴れなかったが、これも危険なはず1週間も拘束された。彼女のカルテには「複数人でも手がつけられないほど暴れまくる」と書かれていたという。



ヘルシンキのシベリウス公園

詩、帝政ロシアに対する独立運動を象徴する曲である。当時の帝政ロシア政府は、これを演奏禁止処分にした。歌詞がない器楽曲が政治処分を受けると、極めて異例だ。曲の解説だけでなく、帝政ロシアで第一次世界大戦、ロシア革命、第二次世界大戦、独ソ戦と、それがフィンランドの人びとから慕われてきた歴史的背景も解説している。写真の右側はシベリウスの肖像。(太郎)

「精神科特例」というものがある。1958年厚生省(当時)の事務次官が「精神科病院従事者の定員は一般病院に比して医師は3分の1、看護師や准看護師は3分の2でよい」という特例を決めた。「精神科病院の急増が国の要請」というのがその理由だ。国庫補助が設けられ全国に民間精神科病院が粗製乱造された。精神科特例は医療の充実とはまったく逆だ。露骨な差別だ。むしろ一般病院よりも豊富な人材が精神科には必要なのだ。

視線 低賃金が「国を滅ぼす」 GDP4位に転落はなぜ

逆転劇となったが、「失われた30年」で、いったい何がそうさせたのか。まずドイツの労働環境を見てみよう。この30年でドイツの名目賃金は2.1倍と増えている。年平均労働時間は1295時間。8時間労働、残業なしを基本的に要視して着実な経済発展を実現し、これが勝因になっている。一方、日本は守り、最低賃金は全国一律の1986円。次に日本だが、名目賃金は30年間で1.1倍と横ばい。年平均労働時間は1626時間。最低賃金は県によって違いも利益を確保できるように人件費カットを戦略的に推し進めた。企業は長時間労働と非正規雇用を構造化し、「人への投資」を惜しみ内部留保に終始した。搾り取られて疲弊した人びとは、購買力や消費率(年間発電電力量に占める再生エネルギーの割合)はドイツが52%、日本が22%。食糧自給率はドイツが86%、日本は38%。シェンダー格差(世界経済フォーラム2023年)はドイツが6位、日本が125位。実に情けない。労働者に犠牲を強いれば強いるほど、社会全体が疲弊していく。日本政府の「亡国」の政治をこれ以上許してはならない。(森村千春)

避難所でも尊厳ある生活を

PRIDE 新・私のジェンダー考 (21) 災害とジェンダー ②

施設へ移動した。「避難所は長く生活する場所ではない」からだ。台湾現地の報道は「日本とあまりに違う」と大きな注目を集め、「井台湾地震」というワードがトレンド入りした。能登では、被災から4カ月がたってもなお5000人近くが避難所できびしい生活を強いられている。

台湾は日本と同じように、地震や台風による大災害に何度も見舞われてきた。そこでの大きな犠牲を教訓とし、2010年代から政府、地方行政とボランティア団体、宗教組織、企業が連携して防災計画を練り上げ、普段の訓練も積み重ねてきたという。それが花蓮市の避難所だった。

イタリアのTKB48

イタリアも地震大国だ。90年代、中央省庁として市民防災局がおかれ、発災と同時に州へ指令が出され、48時間以内

に「パッケージ」が避難所に届けられることになっていて、その中身はTKB(トイレ、キッチン、ベッド)十テントや生活物資で、費用は公費から出すが備蓄の管理・維持は自治体と連携したボランティア団体を受け持ち、発災と同時に各組織が役割に応じて避難所運営にあたる。その日のうちに避難所にはキッチンカーが到着、あたたかいスープやパスタがプロの料理人の手で避難者に提供される——という話が上がっている。

「スフィア基準」避難者の人間としての権利

災害対策法には「国民の生命・財産を守るため、自治体を支援する」とは国の責務」と明記されている。まず国が、全日本の避難所の生活環境が最低限の国際基準レベル(スフィア基準)に到達するように動くべきだと専門家が指摘している。

スフィア基準とは正式には「人道憲章と人道支援の最低基準」とい

非政府組織(NGO)グループ、国際赤十字社、赤新月運動によって「難民、災害や戦争被災者の権利を守るため、人道援助の質を向上させる」ことを目的に提唱され、98年「スフィアハンドブック」として出版された。その後の世界各国の知見を加えて改訂を重ね、18年の最新刊は400頁にもなる。

スフィア基準の原理

は、①災害や紛争の影響を受けた人びとには、尊厳ある生活を営む権利があり、支援を受ける権利がある。②災害や紛争による苦痛を軽減するため

に、実行可能なあらゆる手段が尽くされなくてはならない、という2つである。

これに基づき基本的な理念と技術的なことが書かれた章で構成される。避難所の項目でのジェンダー関連では「一時的な集合宿泊施設が使用される場合、性的搾取や性的暴力が起こらないように特別に対策を講じる必要がある」「トイレ数は女性

マルクスに凭られて六十年

岡崎次郎・著 航思社 2023年刊 3600円+税



マルクスの本って、高校の時に『共産党宣言』を読んだくらい。『資本論』は第8章「労働日」は読んだけど、全部読んでことはなかった。ネット検索で偶然見つけたのが『マルクスに凭られて60年』だった。1983年に青土社から出版され、2023年に航思社から復刊された。

書いたのは1904年北海道生まれの岡崎次郎。24年に東大文学部哲学科入学、27年に今度は東大経済学部に入學。お父さんは、公務員だったそうだが、経済的にはゆとりがあったのだろう。

ひとこと

介護、ジェンダーの記事や論者に心を動かされる。一方、吉村の言葉は、検証もなくマスメディアに。(ち) / 「杉田水脈の酷さ」を痛感した。(み) / 「社会的排除を当然」とした安倍的思想。インクルーシブが問われる。(し) / 地方自治法改正? 土地規制法と合わせ論評を。(こ)



三里塚「産直野菜」は有機無農薬。毎週・隔週、「お試しセット」あり。
【お問い合わせ】
TEL/0799-72-5242
関西E-mail/ kanjitsu_mail@yahoo.co.jp

芋、玉ねぎは6月ごろから。豆類、丸い房にならない茎プロッコリも順調です。まもなく、さつま芋の苗植えが始まります。(淡)

今年中に読めるか

さて、『資本論』。日本で400万部ほど売れているらしい。それだけ日本ではマルクス主義に共鳴した人が多かったのだ。日本では、何人か(鈴木木鴻一郎、長谷部文雄、今村仁司)が翻訳している。そのうち買い易いといわれている。あの鍋山貞親に中国で会って話したことなど、興味深い。

戦前戦後を生きたマルクスボーイの遺言

戦後は、九州大学と法政大学の経済学部で教員をしていた。自伝なので誇張や記憶違いもあるだろうが、戦前、戦中、戦後を生きたマルクスボーイの姿を見せられる。

台湾の避難所に驚く
前回に続き、避難所について。4月3日におきた台湾東部の地震。震源地近い花蓮市では発災3時間後に避難所が設置された。体育館の内外に個室型のテントが並び、食堂と温かい食事、トイレ・シャワー、ジェンダーや障害などに配慮したスペース、子どもの遊び場もあった。



「スフィアハンドブック：人道憲章と人道支援における最低基準 2018」日本語版

トガシさんの「沖縄便り」(79)

うるま陸自訓練場 断念させた

— 4月12日の新聞報道では、「防衛省が、うるま自衛隊訓練場を断念した」とのことですが、場所はどこですか。

うるま市は、沖縄本島の中部の東側です。そこにあるゴルフ場跡地です。

— 先月、ミサイルやミサイル発射機などの機材を搬入したと聞きましたが、そこではないか？

そうです。うるま市では現在、2カ所で反対運動が行われています(地図参照)。一つはうるま市の南にある勝連分屯地にミサイルが搬入され、「部隊を増やした」と



より大きい規模、施設である沖縄少年自然性能を有する作戦の家の近くだから、地元部隊なのです。師団化されると2千人規模から3千人規模に膨れ上がるというものです。

— 師団なんて、戦前の軍制の名で、22年12月の安全保障関連文書で那覇市を拠点とする約2千人の第15旅団を「師団」に格上げ、さらに増員する方針を打ち出したことを指します。

住民が声をあげた

— 話を元に戻します。断念に至る大きなきっかけは何ですか。

まあ、自衛隊は場所が悪かったと思っただけです。防衛相は24年度予算に計上した土地取得費について「しっかりと

活用させていただきたい」と言っていますから。なるほど、まだ気が抜けないですね。

— 師団なんて、戦前の軍制の名で、22年12月の安全保障関連文書で那覇市を拠点とする約2千人の第15旅団を「師団」に格上げ、さらに増員する方針を打ち出したことを指します。

「寿退社」は死語にあらざ

労働の制限や休日・夜間労働の禁止がなくなっ結果、あらゆる職種で女性の残業や深夜労働が拡大した。権利を奪うように主張するのなら、女も無制限に働けというわけである。しかし子育てや家事労働、親の介護などを、ほぼ女性だけに無償労働として強いている現実が一切考慮されていない。

早朝、新聞を読んでいたら一挙に暗澹たる気持ちになった。「寿退社」という死語だと思っただけです。1985年制定の男女雇用機会均等法に「募集、採用、昇給、教育訓練、福利厚生、妊娠・出産、退職や解雇などについて、労働者を性別を理由にして差別してはならない」とある。もちろんこれはザル法だ。それが1997年に「努力義務」から「禁止規定」に大幅に改正された。ところが次に破格の攻撃が待っていた。政府が標的にしたのは「女性保護」だった。1999年、労働基準法の「女性保護」規定が撤廃され、時間外別を指摘されて法律に

際には円滑に利用できるよう八重山の石垣港と那覇空港が「特定利用空港、港湾」に指定され、整備されることに決まりました。4月24日には、石垣市では自衛隊が公道を使った行軍訓練を行いました。戦争ができる国作りは訓練場だけではなく、いろいろな所で進められています。

(富樫 守)

— 琉球列島に今起っていることは、明日の本土でも起る事ですね。

そうです。戦争への芽出しは、小さいうちから摘んでおく必要があります。今後とも琉球列島(南西諸島)で起っていることに注視してください。問題を共有していきましょう。

引かかっはまずい日・夜間労働のと、男女別である本音を秘して、総合職と一般職に区別する。同じ仕事をしても賃金はじめ全てのルールが総合職に有利であり、そして女性の総合職雇用はエリートを除いてはまずない。結局は男女で雲泥の差が生まれる。4月22日の朝日新聞の記事にある「一般職女性は、社宅入居の希望を上司に申請。そこでその上司の返答が、「女性は実家から通い、寿退社する規定になっている」である。確かに社宅入居の資料には「妻帯者向け」となっており、独身であれば既婚者であれ女性はあらかじめ排除されている。この女性はこの企業に山程ある制度的格差に泣き寝入りせず裁判に訴えました。訂正してお詫びします。5面3段目(誤)政務次官(正) 政務官

まい・しよっと (75)



ときどき街で歌うストリートミュージシャンの平田さん。デモのときもギター持参で参加している。私は歌がさっぱり。中学校のとき、まじめにやっているのに……音楽の先生に「音楽を舐めとるんかっ」と怒られた。平田さんは、「戦さしらずに二十歳になって……」という優しい歌をいつも歌う。

(撮影：4月 神戸市内、mark)

再会の日

渡辺信雄

見上げた空に
純白の辛夷の花は
待っていてくれた。
いつもなら散っている季節
かつて幾万の人の
こぶしがにぎられて空へ浮かんだ
幾時代か過ぎて 空の花。
精一杯咲いていた
天から私たちを見守るように。
花と出会い 人と出会う
憂いはらわれ
今日を生きる。

【訂正とお詫び】

本紙前号1面「中小・非正規の権利をかけた」の記事で「関西生コン労組つぶしの弾圧を許さない東海の会」を「労働組合を許さない東海の会」と誤記していました。訂正してお詫びします。5面3段目(誤)政務次官(正) 政務官